

研修報告書

令和 5 年 11 月 14 日

長浜市議会議長 中川 勇 様

長浜市議会議員 鋒山紀子

私が出席した次の研修の結果について報告します。

記

1. 研修名 全国市議会議長会研究フォーラム
2. 研修日時 令和 5 年 10 月 25 日（水）～ 26 日（木）
3. 研修場所 福岡県北九州市小倉北区 西日本総合展示場
4. 研修テーマ 統一地方選挙の検証と地方議会の課題
5. 講師 片山善博氏、谷 隆徳氏、江藤俊昭氏

6. 調査内容感想等

・研修の目的

全国の市議会議員並びに議会事務局職員が一堂に会し、共通する課題や今後の議会のあり方について意見交換を行うとともに、議員同士の一層の連携を深めることを目的とし、直下の課題、地方議会議員の性別、年齢構成の偏り、なり手不足の深刻化等を統一地方選挙の結果を検証し、その解決に向けた今後の方向性を展望する。

・研修の内容

統一地方選挙を振り返ると①投票率の低下傾向が続く②大きな特徴として女性議員の増加③依然として無投票当選が多い等があげられる。

投票率低下について、日頃からの議会議員の活動が有権者に伝わっていない、大きな争点がない、現職が強い（なり手不足につながる）などの要因で立候補者は減ってくる

結果は決まってくるあるいは顔ぶれがある程度予想されることによって地方政治がさしたる変化はない等、期待感が薄れ投票行動につながらない、地方議会こそ有権者生活に直結したチェック機能を発揮させるという重大な役割があるにも関わらず低下によって、属性の偏り、選挙に出やすい人が立候補し、当選する。これではますます、なり手も不足して悪循環をきたすことになる。「なり手不足」を解消することによってその悪循環は断ち切ることができる。一つの方策として、議会のあり方を見直すことが必要であるとの考察がありました。社会は多様化しているが議会議員は偏る傾向にある、様々な職域で、働き方改革が問われる、議員報酬の問題、若い世代、子育て中の人々が議員となることができる環境を整えていく、オンラインを取り入れデジタル化を進める等を議論する必要があるとの話がありました。

一方その中で女性議員が増加したことは良い傾向で、その力が如何なく発揮できる環境の整備が急がれる。ハラスメント対策等。さまざまな角度、知見による考察がなされたいへん意義深い研修となりました。

・研修の結果を本市議会にどのように反映させるか

この研修を通して地方議会における課題を再認識することができました。今後も継続的に基本条例の検証、見直しが必要であり、議会活動の広報広聴に積極的に努めることが重要と考えます。今回の研修は示唆に富む有意義なものでした。